

# KRC WEB REPORT

## 徒然想

約二千年前の古代都市の遺跡で、ユネスコの世界遺産に指定されているパルミラ遺跡。ここにある貴重な彫像を過激派組織 ISIS が破壊したというニュースに愕然とした方も多かったことでしょう。破壊されたのは、シカを捕らえたライオンの像で非常に価値のあるものでした。歴史はある意味で創造と破壊の繰返しなのかもしれませんが、これまでで守り続けそして後世に残そうとしてきた人類の生きた証が、もうこれ以上無残に踏みこまれることの無いよう祈るばかりです。

## TECHNICAL TOPICS 今月の技術情報

### 原爆ドーム健全度調査

原爆ドームは 1915 年に広島県物産陳列館として建設されてから今年で 100 年、被爆後 70 年となります。原爆投下当時は広島県産業奨励館と呼ばれており、現在ユネスコの世界遺産(文化遺産)に登録されています。

第2回保存工事以降、原爆ドームの経年劣化等の状況を把握することを目的に、1992年度(平成4年度)から原則3年毎に健全度調査を実施しています。この度、8回目(平成26年度)の健全度調査を弊社が実施しました。

●主な調査内容は以下のとおりです。

#### 1.外観調査

原爆ドームに発生しているひびわれ、浮き・剥離、石灰溶出、鉄筋露出・腐食、鋼材変形、その他の不良箇所等を目視により観察しました。なお、浮きは、打診棒を使用し、打診により調査しました。



打診棒及び目視による調査

#### 2.沈下量測定

原爆ドームに設置している 40 か所の測量鉞の標高を測量し、沈下の状況を調査しました。



沈下量測定の様子

#### 3.鉛直度調査

原爆ドーム壁体の上部と下部に設置した 8 か所(16 地点)の測量鉞を測量し、相対水平距離の差の変化により、傾きの状況を調査しました。



原爆ドーム壁体の傾き状況を把握

#### 4.透水試験

第2回保存工事において、表面に浸透性吸水防止剤が塗布されており、この防水剤の効果を把握するため、第2回健全度調査以降、透水試験を実施しています。試験は、原爆ドーム壁体 4 か所(20 点)に注水器を貼り付け、水を充填して 1 時間経過後の水量を計測し、防水性を確認しました。



注水器で原爆ドーム壁体の防水性を確認

広島市では、これまでの原爆ドームに関する調査結果をデータベース化して情報を経年的に一元管理されています。来月は、引き続きそのことについてご紹介いたします。下記の広島市 HP も、ぜひあわせてご覧ください。

広島市 HP 原爆ドームコーナー <http://www.city.hiroshima.lg.jp/www/dome/index.html>

(株)計測リサーチコンサルタント HP:<http://www.krcnet.co.jp> Mail:[krc@krcnet.co.jp](mailto:krc@krcnet.co.jp) 問合せ:<http://www.krcnet.co.jp/contact/contact.htm>